

ワクワク！

治田小 学校だより

2025年5月2日

栗東市立治田小学校

NO.3

リズムよく走り抜けよう！

暖かい日差しの中、子どもたちは元気に登校してくれています。朝から元気に「おはようございます！」と挨拶してくれる子どもがいっぱいいるのは、本当にうれしいことです。なかには、きちんとお辞儀をしたり、「〇〇先生、おはようございます」と丁寧に挨拶したりしてくれる子もいます。どこでこんなことを身に着けているのかなあと感心するばかりです。

さて、3年生の体育の授業を見に行きました。ミニハードルを並べたコースを、リズムよく走り抜けます。ハードル間の長さが違うコースがあるので、どのコースが走りやすいか、試しながら走っていました。走り終わってスタートラインに戻る時までも、全力で走っている子もいます。3年生は多様な動きが身に着きやすい時期です。いろんな動きに全身でチャレンジして、運動を楽しむことが大好きになってくれるとうれしく思います。



レジリエンスを育もう！

栗東市の教育目標は「心豊かでしなやかに生きる人の育成～レジリエンスを高める栗東の教育～」が掲げられています。これまでの「たくましさ」だけではなく、柳や竹のように「しなやか」に立ち直ってくる力（レジリエンス）が大切だという考えです。子どもたちにはつつい手を差し伸べて失敗しないように、うまくやっていけるようにと手助けをしてしまいがちになります。でも子どもが自分でやっていける力を身に着けるには、自分の力で試行錯誤し、失敗を繰り返しながらも達成していくプロセスが必要だと思います。転ばぬ先の杖も必要ですが、思い切って任せることも、子どもの成長には大事だと思いませんか？

栗東の子どものための

レジリエンスを育もう

栗東市では、0歳から15歳までの連続した子育て「栗東子育て教育Nextプロジェクト」を推進しています。
プロジェクトの中心はレジリエンスを基とする異年齢能力の育成。様々なことや心が折れるようなことに出会っても、頼りや竹のように「しなやか」に立ち直る力です。家庭・地域・学校園が連携して、子どもたちのレジリエンスを育みます。

レジリエンスを育むために必要な4つの要素

- 安全な環境**
安心して活動できる環境を整えることが大切です。
- 挑戦の機会**
様々なことに挑戦し、失敗を経験することが大切です。
- サポート**
挑戦するときに必要なサポートを提供することが大切です。
- 自己肯定感**
自分の力を信じて、挑戦し続けることが大切です。

お問い合わせ：077-551-0130

保護者用ネームホルダーについて

4月28日付のお便りで、保護者用ネームプレートの使用についてお願いをいたしました。それに伴いネームホルダーをご用意いただく必要があるのですが、昨年度まで学校で販売を受け付けておりましたが、今年度からは販売を取りやめることとなりました。お手数をおかけして申し訳ないのですが、各ご家庭で紐が赤いものをご準備いただき、来校されるときにはご使用くださるようお願いいたします。